

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上代継在宅地域支援センター			
○保護者評価実施期間	令和6年12月13日 ～ 令和6年12月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和6年12月13日 ～ 令和6年12月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、生活支援員(保育士等) の連携がとれている。	・各パートごとや保育前後に話し合いの機会をとっている。 また、毎週水曜日には全体職員会議を行うことで情報共有を図り、支援が円滑に行えるよう取り組んでいる。	・引き続き情報共有を行いながらよりよい支援を行っていき たい。
2	・併設している診療所があるため、体調不良時に連絡を取り 合うことで早期に対応することができる。	・共有のPCソフトを使用することで普段から診療所との情報 共有を行っている。	・引き続き情報共有を行いながら、利用児が安心して過ごせ るよう支援していきたい。
3	・重症心身障害児への知識や経験の深いスタッフ職員が多い ため、個別ごと特性に合わせた支援を提供することができ る。	・専門性の高い多職種スタッフ職員による個別ごとの支援を 提供している。	・引き続き、児童やご家族と情報交換を行いながら、特性に 合わせた支援を行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の幼稚園や保育園、他事業所との連携が円滑に行えて いない状況がある。	・センター内に診療所（診察・リハビリ・相談支援など）も あり、外部機関との連携が十分に行えていない状況がある。 自立支援協議会には参画しているが、積極的な情報共有や、 連携は図れていない。	・自立支援協議会を通じた連携、訪問、勉強会の開催等、情 報交換の機会を増やしていきたい。
2	・部屋数が少なく、保育や食事などが同じ場所となってしまう ため、児童に合わせた過ごし方が難しい場面がある。	・生活介護事業との多機能型のため、部屋の調整が難しい面 がある。	・場面に合わせた部屋の使い方を職員間で話し合いながら工 夫していきたい。
3			